

令和6年5月31日

P T A総会 挨拶

私はこの度の定期人事異動で4月に校長として赴任いたしました、室屋と申します。本校への赴任は平成2年の初任から3回目、14年目となります。これからも隼人工業高校の活性化に向け尽力したいと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

保護者の皆様におかれましては、本日お忙しい中、また、お足元の悪い中、本校P T A総会にご出席いただきまして、誠にありがとうございます。

また、平素より本校教育活動に際しまして、ご理解とご協力を賜り、重ねてお礼申し上げます。

総会資料の1～3ページにもありますように、本校、学校教育活動の目標は、「**実践的産業人の育成**」を、「ものづくり」、「キャリアづくり」、「人づくり」よって行うことです。

令和6年度は、3年ぶりに全校生徒が400人を超えるなどの活気に満ちた1学期を迎え、早くも2ヶ月が経とうとしていますが、生徒たちは、学習はもちろんのこと、地区大会で複数の部活動が優勝旗を持ち帰るなど活躍し、資格取得に関しても朝から電気工事士等の補習に力を入れて取り組み励んでいます。

特に3年生は、進路実現に向けて三者面談や基礎力診断テスト、7月1日求人票受付開始に向け進路選択についてのLHRを受けるなど、進路実現に向けての取り組みを行っています。

さらに学校としては、昨年度から霧島市や第一工科大学、地元企業やコミュニティなどと連携し、「コンソーシアムパーク隼人」を立ち上げ、連携協働事業により、社会の一員として貢献できる実践的産業人の育成に努めているところでありますが、今年はこの事業に加えて、文部科学省がデジタル人材育成支援事業を推進する高校にも選ばれ、キャリア教育の充実と、日本の未来を担うリーダー育成を任されるなど、注目を集める学校へと変わりつつあり、職員一同は、生徒の進路実現のために生徒の特性を見取り、指導・支援を更に取り組んでいるところであります。

このようなことから、先ほども申し上げました「実践的産業人の育成」を推進するためには、その根幹となる、人として人の想いを大切にすること、人権意識の向上はもちろんのこと、健体康心、体健やかで心康らかであることが必要不可欠です。

バランスの取れた飲食、成長に不可欠な活性ホルモン分泌を促す良質な睡眠、人としての在り方・生き方、知識・技術の向上などが大切な要素ではありますが、このことを行う上では、学校教育のみならず、家庭教育との連携が最も大切であると、ご出席の皆様にもご理解いただき感謝申し上げます。

最後に、職員一同、本日のP T A総会を初めとする諸活動によって、社会の宝である次世代の子どもたちを、これからも皆様と共に育成してまいりたいと思っておりますので、ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げますとともに、皆様のご健勝を祈念いたしまして、本日の挨拶とさせていただきます。